

<ピアサポーターの活動（事例紹介）>

事例紹介：Aさん

（50代女性・統合失調症・入院歴3年）

20代に発症。通院しながら地域で生活をされていましたが、体調悪化により入院。退院後、初めて障がい福祉サービスを利用予定。

ピアサポート利用開始までの経過

入院中の精神科病院と相談支援専門員からの相談。相談支援専門員も地域移行支援に関わっていたが、Aさんが退院後の地域生活に不安を抱えていることを知った。Aさんにピアサポーターについて情報提供。ワン・オールへピアサポーター利用について連絡がありました。

数か月後の退院を想定して、ワン・オールのスタッフとAさんの面談後、ピアサポーターとの顔合わせを行いました。

ピアサポーターの役割と関わり

Aさん・関係機関と相談をし、ピアサポーターの役割を確認。ピアサポーターは、新しい生活への不安な気持ちを聴きながら、**地域で生活している当事者としての経験をお伝えしていくこと**となりました。2週間に1回のペースで病院、退院後は住居へ訪問することも確認。

ピアサポーターの関わりを通じて

Aさんは、不安な気持ちや疑問に思うこと等をピアサポーターに話すことで、『スッキリした』と話すことが多かったです。自分と同じ様に病気をもちながら地域で生活している**ピアサポーターを身近**に感じてくれたように思います。

面談内容を関係機関へ報告することで、Aさんが抱えている具体的な不安や支援者への気持ちを知らることができ、『**Aさんの特性理解に繋がった**』という声をいただきました。地域の支援者とAさんの橋渡しができたように感じています。

<これまでの活動実績>

精神科病院	12病院 （総合病院の精神科病棟を含む）
対象者数（延べ）	27人
内、退院者	19人
※2024年度までの実績	

【その他の活動紹介】

- ・精神科病院からの依頼で、活動報告や実践報告を実施。
- ・地域移行の推進に関わる機関へ、ピアサポートの周知活動を実施
- ・精神科病院に入院中の患者さんに対して、地域移行のイメージを同じ当事者の立場で伝える活動を実施。



<問合せ先>

さっぽろ地域づくりネットワーク
ワン・オール

<所在地>

☎064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目
市民活動プラザ星園302号

<連絡先>

電話 011-213-0171
e-mail sapporo@one-all.net
ホームページ <http://one-all.net>

- ・分からない事があれば、お気軽に連絡下さい
- ・地域移行でお困りの際は、ご相談下さい

しおり ピアサポの葉

～ピアサポーターが地域移行
のお手伝いをします！！～

ピアサポーター活用業務

（入院者権利擁護推進事業）

この事業は、精神科病院に入院されている精神障がいのある方を対象に、ピアサポーターを活用し、退院支援に関わらせていただく事業です。

退院支援に関わられている精神科病院の皆様にも、この事業について知っていただき、活用していただくためのパンフレットです。

精神科病院職員の皆様向け

<ピアサポーターとは？>

ピアサポーターの「ピア」とは「仲間」「同じ立場」という意味を持つ言葉です。

障がいのある当事者が、同じ苦勞を抱える方と仲間の立場で支援し合うことを「ピアサポート」と言います。ピアサポーターは、その支援を行う障がい当事者です。

相談支援事業所の地域移行支援と連携して行うこともできるんですよ。



<ピアサポーターの活用に向けた動き>

相談支援事業所	ピアサポーターの活動
<精神科病院からの依頼> まずはご相談ください	精神科病院ご担当者の方からご依頼をいただいて、アセスメントの後、ご本人に利用申込をしていただきます。
<情報提供> 地域生活の社会資源などに関する情報の提供	ピアサポーターが活用している社会資源（年金、福祉サービス等）を本人へ情報提供できます。
<訪問相談> 意向の聴取、不安や動機付けなどを行う相談	入院中の精神科病院へ訪問して本人と面談を行います。当事者の立場から退院に向けて、不安・心配・希望を聞いて関わる事ができます。
<同行支援> 外出同行や事業所への見学など	院外への外出（買い物・散歩・外食・福祉事業所への見学）に同行することができます。
<体験利用> 障害福祉サービスの体験利用の調整など	体験利用中にピアサポーターが訪問して、お話を聞くこともできます。
<住居確保> 退院・退所後の入居手続きの支援	退院後の生活するイメージを一緒に考えたり、話し合う事もできます。
<退院準備（同行等）> 退院・退所後に必要な物品購入や手続きなど	携帯電話の契約や使い方、必要物品の購入、公共交通機関の利用方法等、退院後に想定される支援を一緒に行えます。
<退院後支援> 一定期間、退院後も定期的な訪問など	退院後の住まいに訪問して、退院後の生活が退院前のイメージと合っているか、退院後の新たな不安・心配・希望などを聞いて関わる事ができます。



Q1. 事業利用の相談は、どこへしたらいいの？

ワン・オールへ、ご連絡ください。

Q2. 相談のタイミングは？

精神科病院の入院中に、ご相談ください。本人への情報提供や打合せ等を調整・検討をします。

Q3. 事業利用で、申込や費用はかかりますか？

対象者には、利用申込書の記入をいただきます。利用負担はありませんが、外出等に掛かる対象者の費用は、実費負担となります。

Q4. 近々、退院ですが、相談してもいいですか？

どうぞ、ご連絡ください。

Q5. 退院意欲の低い方でも、この事業使えますか？

ピアサポーターと一緒に活動することで、意欲が高まる可能性があります。ご相談ください。

Q6. ピアサポーターの訪問頻度は、何回くらい？

支援内容によって変わりますが、週1回～月1回を目安に訪問することが出来ます。

Q7. 精神科病院とピアサポーターの連携って？

訪問や同行等の同席もできますし、ピアサポーターのみでの訪問等も可能です。

Q8. ピアサポーターは何人で訪問するの？

1～2名で対応させていただきます。

Q9. 利用期限ってあるの？

退院まで概ね6ヶ月～12 か月、退院した後のサポートは6ヶ月を目安にしています。

